

会 議 録

会 議 名	(仮称)小金井市貫井北町地域センター建設 第3回市民検討委員会		
事 務 局	公民館		
開 催 日 時	平成22年9月26日(日) 午前10時から12時15分		
開 催 場 所	市役所第二庁舎8階 801会議室		
出 席 委 員	渡辺委員長 浅野副委員長 福島委員 仙波委員 多田委員 伊藤委員 桂委員 平井委員 雫委員 三島委員 中村委員 松尾委員 藤井委員		
欠 席 委 員			
事 務 局 員	渡辺生涯学習部長 大関公民館長 上石図書館主査 山崎庶務係長 渡辺事業係長 松下庶務係主事		
事 業 者	株式会社 前川建築設計事務所 橋本(代表取締役・総括責任者) 田中(意匠担当主任技術者) 畑野(意匠担当技術者)		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回までの質問事項等について 2 基本設計(具体的な配置、平面計画)について <ol style="list-style-type: none"> (1) 図書館部門(各用途の部門分けの考え方等について) (2) 公民館部門(各諸室の構成等について) (3) 飲食のスペース、屋上利用の考え方について 3 次回の開催日程について 4 配付資料 <ol style="list-style-type: none"> (1) 質問事項回答一覧(8/18まで受付分) …資料11 (2) 事業のまとめ(平成21年度版) …資料12 (3) 公民館利用団体ジャンル別割合 …資料13 (4) 公民館諸室検討案 …資料14 (5) 主要諸室の用途及び大きさについて …資料15 (6) 図書館・公民館の平面計画について …資料16 		

会 議 結 果

渡辺委員長 (仮称)小金井市貫井北町地域センター建設・第3回市民検討委員会を開催する。

会議開始にあたって

大関公民館長 お手元に資料 11 から資料 16 までを配布してあるので確認をお願いしたい。

— 配布資料の確認 —

前回 (第 2 回) 会議録の承認をいただきたい

— 承認 —

田中図書館長が 9 月 7 日から 2 ヶ月間病氣療養休暇をとっており、その間生涯学習部長が図書館長を務め、市民検討委員会には図書館職員が 1 名出席し対応することとなる。

1. 前回までの質問事項等について

山崎庶務係長 桂委員からいただいたご要望に基づき、資料 12、資料 13 をご用意し、配布させていただいた。今後の資料として参考にしていただきたい。

2. 基本設計 (具体的な配置、平面計画) について

(1) 図書館部門 (各用途の部門分けの考え方等について)

映像を使用した説明 (前川・畑野)

- ・ 図書館内のゾーニングについて
- ・ ヤングアダルトコーナーの位置について (公共図書館の事例を紹介)
- ・ 具体的な書架配置について

第 2 回検討委員会で提示したプランをベースに書架を配置し、一般開架 44,000 冊、児童開架 12,000 冊の計 66,000 冊の蔵書が可能な案

雫 委員 新聞雑誌コーナーは何名程度座れるスペースが確保されるのか。

前川・畑野 ブラウジングコーナーはソファ席が 9 席と、新聞閲覧席が 4 席となっている。

児童コーナーが隣接しているため落ち着いて新聞が読めないという問題が他の図書館でも起きているため、新聞コーナーだけを切り離して別の位置に設けることも考えられる。

雑誌は 100 誌程度、新聞は 12 誌を納めている。

蔵書数が 6 万冊とあるため、それをクリアしつつ極力閲覧席を確保するように努める。

一般開架は 6 段で高さが 1.7m 程度、児童開架は 4 段で高さが 1.4 m を考えているが、なるべく低く抑えて開放感のある空間としたい。

藤井委員 学習室には学生が持ち込むパソコン用のジャック等が設置されるのか。

前川・畑野 図書館運営とも絡むが、最近では利用者のご自身でパソコンを持ち込むケースが多くなっているようなので、そのような設えが必要と

考える。

渡辺委員長

そういった話はどこで、いつ決定されるのか。

LANは無線にするのか有線にするのか、かなり重要な問題だと思われる。

前川・畑野

こちらとしては次回あたりから設備的な部分や構造的な部分にも触れていきたいと考えているが、運営サイドとの調整が必要と思われる。

前川・橋本

以前お配りしたスケジュール表にもある通り、今回までに必要な諸室を決定し、それに伴う設えを4回目以降で検討することとなっている。

三島委員

閲覧席は何席くらいあるのか。

前川・畑野

窓際のカウンター席が12席、閲覧テーブルが8席、キャレルデスクが4席とヤングアダルト席が8席となっている。

平井委員

児童を含めた数字ですか。

前川・畑野

児童コーナーは含んでいない。別に15席程度考えている。

松尾委員

映像のプランと本日配布された資料16のプランは異なっているとのことだが、どのような関係になるのか。

前川・畑野

映像は前回の検討委員会で提示した案をベースにレイアウトしているが、当初予定している600㎡を大きく上回っているため、交差点側を削って面積を小さくしている。

資料16は建物全体の検討用資料であり、映像については図書館内のゾーニングを決定するための参考図と捉えていただきたい。

松尾委員

資料16よりも図書館の映像の方が新しいプランということか。

前川・畑野

資料16の方が新しくなっている。

前川・田中

この後説明する公民館を含む全体計画の中で、不確定要素となっているコアの位置やロビー周りの設え等によって、まだ図書館についても変わってくる可能性を含んでおり、今回示した図書館家具のレイアウトはあくまでも目安として捉えていただきたい。このくらいの面積であれば蔵書数が何万冊で、閲覧席がこれくらいとれるといった参考例である。

前川・橋本

色々なご意見があろうかと思うが、ここでお示ししたのは面積や、蔵書数、閲覧席数等の諸条件のもと、参考例の一つとして提示しているもので、これで決定という訳ではない。

松尾委員

レファレンスデスクやサービスデスクは来館者が利用する部分と捉えると事務室部分が見当たらないが、閉架書架はなくなってしまったのか。

前川・橋本

ここ(右上)に配置してなるべくオープンな空間としているが、これも一つの提案であるので色々ご意見をお聞かせいただきたい。

松尾委員

以前、閉架書庫があった部分は何になっているのか。

前川・橋本

参考図書コーナーになっている。

渡辺委員長

ここまで出てきた蔵書数等の一般的な内容について、図書館側と調整したうえで出てきているのか。

前川・橋本
渡辺委員長 そこまで至っていない。
 すべてのことをこの場で決めるのは難しいので、ある程度図書館側
 が了承しているものを提示していただいて、この場で検討するように
 したい。

前川・橋本 小金井市内の他館との連携等も含め、早急に詰めて提案させていた
 だく。

渡辺委員長
平井委員 逆にこれしかないと言われても困りますが。
 児童コーナーは映像でお示しいただいたくらいの大きさが必要であ
 る。昨日のセミナーでも出ていた、新聞コーナーを児童コーナーから
 離して設置するというのとは一つの手段と思うが、この面積の中で出来
 るかどうかは今後の問題である。

 通り側のテラスは若者や児童も使えるし、通りを歩く方にも雰囲気
 が伝わって、図書館を利用してみようという思いを啓発するかもしれ
 ないので面白いと思う。

渡辺委員長 私の感覚からすると、テラスをとれば部屋が狭くなるので、そのあ
 たりのせめぎ合いになると思われる。

(2) 公民館部門（各諸室の構成等について）

映像と資料 15、資料 16 を使用した説明（前川・田中）

・公民館、図書館の平面計画について（全4案）

A 案：前回（第2回）検討委員会で提示した案の修正版

B 案：コア（階段とエレベーター）を交差点側に設けた案

C 案：B 案の2階青少年のスペースを建物の東側に設置した案

中2階案：中2階にレクリエーション室を設置した案

公民館諸室検討案（資料 14）について渡辺事業係長より説明

渡辺事業係長 資料 14 は公民館施設をこうしてほしいという要望ではなく、現在
 我々がやっている主催事業や、公民館で実際に活動されているサーク
 ルや日頃業務を通じて市民の皆様からいただいたご要望をかなえるに
 はこういった部屋が必要であるという職員側の提案として作成したも
 のである。

・公民館部門 主要諸室の用途及び大きさについて

各室の必要面積、用途、収容人員

別用途の兼用の可否

可動間仕切り壁で分割利用が可能な室

遮音性を重視する室

特殊な什器備品を必要とする室

以上の要素を踏まえて検討が必要

渡辺委員長 先程から話題に出ている図書室の面積については、どの案もほぼ一

緒と捉えて宜しいか。

前川・田中

どの案もおおよそ 620 m²から 630 m²程度となっている。
コア（縦動線）の位置によって出入口の設えは変わってくる。
読書テラスはいずれの案でも確保することは可能である。

渡辺委員長

先程映像で説明していただいた図書館のプラン（書架配置）と資料 16 のプランの違いは何か。

前川・畑野

資料 16 のプランは交差点側を削ることで面積が小さくなっている。
何故小さくする必要があったのか。

渡辺委員長

前川・畑野

施設全体を 1,850 m²以内で収めなければならない中で、当初の予定である 600 m²を大きく上回っている図書館部分をやむを得ず削っている。

渡辺委員長

それは市の要望か、それとも設計事務所の判断か。

前川・畑野

設計事務所の判断である。

渡辺委員長

ここで皆さんが判断されれば、覆すことも可能か。

前川・畑野

可能ではあるが北一会館を含めて 2,000 m²以内に収めなければならないので、代わりに他の部分を削らなければならない。

渡辺委員長

何故 2,000 m²を超えてはならないのか。トータルコストは色々な部分で調整が可能と思われるが。

前川・畑野

2,000 m²を超えた場合、駐車場の付置義務（8台設置）が課せられて、この敷地の中にそのスペースをとった場合、建物がその分小さくなってしまうため、新築部分を 1,850 m²以内に抑える必要がある。

渡辺委員長

どちらの付置義務か。

前川・田中

東京都です。

渡辺委員長

トータルで 2,000 m²という枠があって、その中で図書館と公民館がどれくらいであれば妥当かということをお考えいただいて進めていく必要がある。

雫 委 員

中 2 階を設けた場合には床面積が増えるのではないか。

前川・畑野

レクリエーション室を東側の中 2 階に設ける理由として、下部を駐輪場とすることで普通の部屋ほどの高さが必要ないという点と、下部が居室でないため防音の問題もクリア出来る点が挙げられる。

面積については新築部分を 1,850 m²以内に収めなければならないため、公民館の一部を吹抜けにするなどして対応している。

但し、今後役所（指導課）との打合せを進めるなかで、上屋のある駐輪場の部分を床面積に加算するように指導された場合には、その分をどこかから削らなければならないという可能性もある。

雫 委 員

どこかに吹抜けをつくったりして全体の面積は変わらないようにするか。

前川・畑野

全体で 1,850 m²以内に収めることを目標としている。

松 尾 委 員

図書館についての確認ですが、A 案、B 案共に閉架書庫に壁と扉が見受けられるが、これはないものと考えて宜しいか。

前川・畑野	今後、図書館運営サイドと調整するなかで壁を設けたり、事務室と一体の空間にしたり、方法は幾つか考えられる。
松尾委員	「スタッフの時間を節約する」意味から、スタッフの動線が動き易くするには壁はあるべきではない。
前川・畑野	図書館と公民館は開館時間が異なると思うが、図書館が閉館した後の1階ロビー周りの管理についてはどのようにお考えか。
多田委員	施設全体の運営にも係る問題ではあるが、我々の考えとしては、1階ロビーの一角に受付カウンターを設けて、そこにボランティアの方を配置してはどうかと考えている。
渡辺委員長	その問題を解決する方法として、図書館と公民館を入れ替えるというのはいかがでしょうか。1階に総合カウンターを設け、他にウェブカメラのようなものを設置すれば2階の事務のスペースが有効利用出来ると思われるが。
多田委員	以前の会議で1階図書館、2階に公民館ということを決めているので、それを変えると収拾がつかなくなってしまう。
渡辺委員長	陶芸教室の点からいっても1階に公民館があった方がよいのではないか。
前川・畑野	よほどここにいる皆さんが入れ替えた方がよいとおっしゃるのであれば、その決定を覆すことはあり得るが、第1回目の検討委員会で決定しているので戻さない方がよい。
仙波委員	ロビー周りの管理をどうするかということで階を入れ替えるというのは極端で、安全を確保するためにロビーや飲食コーナーの周りをどのようにすべきかを考えればよい話であり、設計事務所からの提案や市の方針なども含めて検討すべきだと思う。
前川・畑野	後程、議題として挙げさせていただくが、屋上に一般来館者を出すかどうかという問題もある。安全性の確保という問題については、慎重に検討する必要があると思われる。
前川・田中	図書館の入口は巾が決まっていると思われるが、その部分にパイプシャッターをつけて閉じてしまえば問題ないのではないか。
仙波委員	いずれにしろ、図書館の入口には鍵をかけて、閉館後はロビー側からは誰も入れないようにする。
渡辺委員長	シルバーさんを置くまでもないと思われるが。
大関公民館長	公民館は何時まで開館する予定か。
渡辺委員	10時までを予定している。
渡辺生涯学習部長	図書館は何時まで開館する予定か。
渡辺委員	決まっていない。
桂委員	利用者が入ってきた時に、左側が真っ暗では寂しく思えるので、一部の灯りはつけておくのかもしれないが、何らかの工夫は必要に思う。理想的なのは閉館時間を揃えていただければ一番よい。
	緑分館は1階の図書館が5時までで、それ以降に2階を使う場合には1階の受付にいるシルバーさんが対応してくれている。本館も1階の受付にいるシルバーさんが対応してくれているので、そのような方

法で問題ないと思われる。

前川・橋本

図書館と公民館にはそれぞれ専門の職員の方がいらっしゃるが、それ以外に清掃員の方や用務の方もいらっしゃるが、その方々のスペースも必要ではないかと考えるが。

渡辺生涯学習部長

図書館、図書館共に清掃は委託しているので、そういったスペースはとっていない。維持管理の要員、警備員も両館とも置いていない。総合体育館のみ維持管理の要員を委託で置いている。

三島委員

中2階案とあるが、駐輪場の上が中2階になっているのか。

前川・畑野

1階から3m上がった駐輪場の上に中2階を設けてレクリエーション室と青少年のスペースを配置し、そこから更に1.3m上がると2階になる。レクリエーション室は他の2階の部屋よりも1.3m下がっているため、天井の高さを他よりも高くとることが可能になる。

三島委員

何故この提案が出てきたのか。

前川・畑野

前回の検討委員会から日にちがあったので、同じような施設の見学を行った。その中で、最近では児童青少年エリアに天井を高くして軽い運動も出来る部屋をとるところが増えており、若者の利用率も非常に高いという話を聞いた。この地域センターの目玉として同じような部屋がとれないものかと検討し、提案している。

三島委員

たまたま軽い運動が出来る部屋がほしいという要望があった。

前川・畑野

ヨガやダンスであれば普通の会議室の高さで十分可能であるが、下階への配慮が必要になるため、駐輪場の上に置くことは有利になる。ただ、下階への配慮さえすれば建物の中央でも十分可能である。

中2階にすることで天井の高さが高くとれることが最大の特徴である。

前川・田中

天井が高いといってもバスケットが出来るようにつくったものではない。

福島委員

当初から駐輪場が多ければ多いほどよいと思っていたが、その点では中2階案が台数も多く、しかも上屋があることで雨の日にも濡れないという利点がある。ただ、面積的な部分で十分な調整が出来ていないとのことなので、万が一この案がよいということになっても面積がクリア出来ないというのでは困るので、早急に詰めていただきたい。

1階の閲覧コーナーのつくりとして、非常時には壁を乗り越えるような、窓の高さみたいなものはあるのか。

前川・畑野

窓際の閲覧机は腰の高さの壁に取り付くようなことで考えている。

福島委員

2階も同様だが、非常時に年配の方や女性、子どもが迅速に逃げられるようなことは考えていないのか。

前川・畑野

二方向避難が原則であるので、それぞれの案に屋外階段を設けている。1階についても必要な箇所に扉を設けて迅速な避難が可能となるように対応する。

浅野副委員長

建物が建った時に使えるように避難経路図を作っていただきたい。

松尾委員	2階のITルームについて、B案は教室のように閉じたつくりで、A案はオープンにもなりフリースペースと連携した使い方が出来ることからA案がよいと思うが、あえて考え方の違う二つの案を提案されたのか。
前川・田中	資料15で示したように、フリースペースと連携した使い方や、閉じて使うことも可能である。色々な利用形態があることの例として示しており、こうでなければいけないという訳ではない。
渡辺委員長	ITルームに関しては、特に松尾委員の意見に反対される方がいなければ、クラスルーム型ではなく、もっと自由に使えるようなことで進めていただければ宜しいと思う。
三島委員	それぞれの案で工作室の隣に窯室を設けているが、窯はどのようなものを考えているのか。
前川・田中	電気式のものを考えている。
三島委員	電気式は温度の高さに限界があるし、ガスが主流なのでガス式にしてほしい。石油系はススが出るが、ガスはそれが出ない。その他に泥を流せる設備や道具等を置くスペースも必要であり、そういった部屋は工作室の隣でもよいが、窯は屋外に作っていただきたい。
前川・畑野	今回の提案では、移動の際に同一階にあった方が楽ではないかと考えた。屋外に設けた場合は作品の移動等大変ではないか。
三島委員	作品の移動に関しては問題ない。多少離れていても、自分の作品なので、大切に持ち運ぶので。
前川・田中	今回の検討委員会では、まずどのような部屋が必要であるかということを決めるのが第一の目的であり、そこで決まった必要な部屋に付属して必要な諸室はその都度検討していく。
三島委員	工作室の横に倉庫がある案は良いと思うが。
渡辺委員長	時間も迫ってきているので、本日のまとめをしたいと思う。本日示していただいた4案で、基本的な構成でA案のここはどうだという意見を出していただき、それを設計事務所の方で次回までに検討していただければと思う。 入口周り、児童コーナーが狭く入り方がきつい気がするので、1,850㎡のなかで上手くまとめてほしい。 これらの案で大きな違いは階段の位置だと思う。A案は東側の隅にコンパクトにまとめているが、それ以外の案はもう少し分かりやすい位置に置いている。この点について皆さんはどうお考えになるか。
平井委員	B案、C案、中2階案の階段がよいと思う。 ダンスをする方からは何も置かない部屋で鏡を壁に取り付けてほしいとの要望があった。その点では中2階案がよいと思う。
渡辺委員長	B案、C案ではボランティアの作業室が確保されていてよい。 階段についてはA案よりも広いB案、C案の方がよいという意見があったが、特に反対がなければこの方向で詰めていただきたいと思う

	が。
多田委員	A案以外は階段によって死んでしまうスペースが大きいので、限られた面積を有効に使うという観点ではA案がよいと思う。
渡辺委員長	死んでしまうとは具体的にどういうことか。
多田委員	A案の階段が16帖に対して、その他の案は24帖から30帖くらいとっている。
渡辺委員長	階段が面積をとりすぎるのではないかということか。
多田委員	その通りである。
渡辺委員長	それでは、階段の位置については隅の方ではなく、上がりやすい位置とすることは皆さんの合意がとれたこととし、巾については今後専門家が検討することとしたい。
浅野副委員長	入口周りは人を迎え入れる雰囲気等重要なところなので、階段の面積も含め、設計力により左右されるので、飲食のコーナーも含めて十分検討してほしい。
渡辺委員長	人々が上りたくなるような階段を設計していただきたい。 図書館については、ちょっとずつ面積が小さくなってきつくなった部分を再度検討して、レイアウトしていただきたい。 緑陰の読書テラスやお話しのテラスは、とれれば誰も反対しないと思われるが、それが図書室の機能の制限にならないように、内部は使い易く、外部は巧みに設計してほしい。 2階については若者の居場所をどのようにとることが重要で、その点を色々と検討していただいているように思える。 先程来、皆さん中2階案に興味をもたれているようだが、法規的なクリアが出来るかどうかを次回までに検討していただきたい。 そのあたりの話は小金井市が窓口なのか、東京都なのか。 相談窓口は東京都になる。 そこで話をしていただいて、皆さんが気に入っても面積的にクリア出来なかったということにならないよう配慮してほしい。 建物全体のデザインとしても、そういったものがくっついておかしくならないかを検討してほしい。コンペの審査の時点でもきれいな形が評価されていたので、その点も十分検討してほしい。
前川・田中	
渡辺委員長	B案のお話しコーナーは面白いアイデアだと思う。飲食のコーナーもラウンジとつながった空間でよいと思う。 2階の公民館には視聴覚室やA案のような広い講義室があった方が講演会や上映会等にも対応が出来てよいと思う。
伊藤委員	
浅野副委員長	今の話は非常に重要で、資料の中にもある100㎡の講義室・レクリエーション室と視聴覚室の兼ね合いをどうつけるかが大変難しい。 その際、床材の問題、什器をどこに収納するのか、舞台を設ける場合にどのような設えにするのかが問題である。
前川・橋本	基本的に視聴覚室はビデオとスクリーンがあつて部屋が暗く出来ればよいので、講義室とも兼用出来る。更にその近くに机や椅子を収納できる倉庫があれば講義室兼レクリエーション室兼視聴覚室も十分可

渡辺委員長	<p>能である。工作室のように水を使ったり音や臭いが発生するような部屋は特定して、それ以外はなるべく多機能な設えとすることが必要ではないか。</p> <p>資料14の公民館諸室検討案は非常によくできていると思うが、これを入れるだけでも大変に思える。一つの部屋を多目的に使用することは考えられるが、その都度家具を移動したりするのも大変であり、小金井市に施設はここだけという訳ではないので、ある程度特化させて館の特徴を持たせてもよいのではないかと思うが、その点について浅野先生にお聞きしたい。</p>
浅野副委員長	<p>専門的な活動はそのセンターで行うことはあり得る話で、ただ、講義とレクリエーションは異なる性質のものなので、そういう部屋が二つあるのは非常に有効である。</p>
渡辺委員長	<p>ここにある講義室とレクリエーション室は別々に設けた方が宜しいか。</p>
浅野副委員長	<p>出来ればそれぞれ別々にとっていただきたい。</p>
渡辺委員長	<p>その他、打合せスペースはフリースペースを利用することで設計に入っていて、保育室はそんなに面積はとらないと思われる。</p>
	<p>ITルームは先程も話がありましたし、あとは楽器練習室、食のスペース、創作室をどうしたらよいか検討すればよい。</p>
	<p>食のスペースは専門性が高く、作ればかなり面積も必要となるので地域の要望を確認する必要がある。このセンターと類似した施設を茨城の小さな町で設計しているが、そこでは地域の女性からの強い要望がワークショップでなされたので、実際に盛り込んでいる。</p>
	<p>先程来から話に出ている創作室もどうするのか、皆さんのご意見をお聞かせいただきたい。</p>
	<p>楽器練習室は青少年のスペースに加入しているので、とった方がよいのではないかというのが皆さんのコンセンサスのような気がするが如何か。それを更に重要視して中2階にもっていくかどうかは、法規のこともあるので次回までに検討していただくことでどうか。</p>
前川・畑野	<p>青少年のスペースについても、B案では他の諸室に近く、建物の中央付近に配置しているが、C案では少し離れた東側に配置している。若い人からすると多少離れたところにあった方が目を気にせず利用しやすいのではないかとも思えるので、皆さんのご意見をお聞きしたい。</p>
渡辺委員長	<p>個人的な意見だが、B案は若者が押し込められているような印象を受ける。C案のように離れている方がよいかどうかは別として、奥の倉庫のようなところではなく、もう少し分かりやすい位置にしてほしい。もう一点気になるのは、廊下の巾が非常に広がっている。</p>
前川・田中	<p>福祉のまちづくりのこともあり、最低でも1.4mは確保するように考えている。</p>
渡辺委員長	<p>この計画案の特徴であるフリースペースが広い廊下のようなものでもあるので、それ以外の部分は必要最小限でよいのではないか。</p>
平井委員	<p>廊下が広すぎるといった印象を受けた。</p>

調理室が空いている時には会議室として使用できるようなつくりにしていただきたい。

前川・橋本

従来の調理室のように部屋の真ん中に調理台を置くのではなく、一般家庭の台所のように片側に寄せて、部屋の真ん中にはテーブルを置いて打合せが出来るようなカジュアルな設えにするところが増えてきている。

伊藤委員
渡辺委員長

賛成。

これまでのような調理室にこだわる訳ではないというのが皆さんの意見だと思うので、その方針で検討していただきたい。

(3) 飲食のスペース、屋上利用の考え方について

藤井委員

ハンデキャップのある方々の実習というか、飲食を提供するコーナーの設置は考えていないのか。

前川・橋本

それは設計作業の範疇ではない。

藤井委員

スペースは必要ではないか。

前川・田中

すべての案に共通することで、1階のロビーに黄色く着色している部分が飲食のコーナーである。そこで提供されたものを、席数は少ないがカウンターや、或いは1階、2階のロビー、フリースペースで飲食していただくことは可能である。自販機コーナーになるのかキオスクのようなものになるのか分からないが、何らかの形で提供出来るようにはしたい。

伊藤委員
渡辺生涯学習部長

出来ればカウンターで軽食・喫茶等が出来るスペースがほしい。

栗山公園で軽食コーナーを設けて利用していただいているが、そこでも幾つか問題点がある。館は開いているのにコーナーは閉まっていたり、曜日によって閉まっていたりする。

更に今回の場所でペイ出来るのかも疑問である。

伊藤委員
渡辺生涯学習部長

身障者団体で十分検討し、ペイ出来る様に努力したい。

我々は拒否しているわけではなく、福祉会館のように夕方には閉まって白い布で覆われてしまうというのは運営として如何なものかという思いはある。その点が改善されればあるいは。

伊藤委員
渡辺委員長

土曜日くらいは運営したい思いはあるが。

入口の脇にシルバーさんを配置して館内の案内をお願いしたらどうかというような話も出ていたので、そちらとの連携も考えられるのではないか。

渡辺生涯学習部長

自販機の話が出ているが、市の方針として新しい施設には新設せず、既存の施設も半減を目指すということを掲げている。万が一ここで設置するのであればかなりの検討が必要になる。

渡辺委員長
渡辺生涯学習部長

どういう問題があるのか。

主にエコ対策として平成16年に打ち出している。

設備的に必要なものは電源と給水程度でたいしたものではない。そういった方針との兼ね合いがあることは申し添えておきたい。

中 村 委 員	すべての案に保育室或いは託児室とあるが、この中で保育、授乳、おむつ替え等がすべてこの部屋でまかなえることを前提で図面を書かれているのか。
前川・田中	部屋の広さとしては確保できると考えているが、そこを絶えず保育室として設えておくか、必要な時にだけ仕切って使うのかをまず決めていただきたい。
平 井 委 員	以前、保育室がないことでそこでの講座を諦めたことがある。普段は開放しても構わないが必要だと思う。
渡辺委員長	ある時には専用室にもなるが、普段はもう少し大きくなるような場所を考えてほしいということであれば、現在設計事務所の方で考えている場所はよいかもしれない。
平 井 委 員	とにかくどこでもよいので設けてほしい。
前川・橋本	その場合には水とお湯が必要になるが、そういった設備は壁の一部に設置すれば問題ない。
前川・田中	食のスペースをつくるのであれば、ちょうど設備的な兼ね合いもよいところである。
渡辺委員長	今回食のスペースを簡便なかたちでつくるという話があるので、そのあたりを上手く使えるように検討していただきたい。 創作室についてはどのようにお考えか、意見をお聞きしたい。 つくるつくりたくないの次元ではなく、どのようにとれるかということかと思う。講義室とレクリエーション室をそれぞれ 100 m ² 確保したうえでどのようにとれるか。皆さんから特にやめてほしいとの声があれば、地域センターの特徴として実現できたら素晴らしいと思う。 それで宜しいか。 —賛成 多数—
渡辺委員長	その方向で検討を進めていただきたい。
前川・田中	屋上の利用についてご検討いただきたい。 前回は説明したように、屋上の大半は設備スペース等に占められ、人が利用できるエリアは 200 m ² 程度に限られている。 屋上に人を行かせるのであれば安全対策として監視カメラも必要になると思われる。 以前お話しがあったバスケットコートについては、4mくらいの防球ネットが必要になり現実的ではないと思われる。 環境的な配慮として屋上緑化も必要になるが、屋上に上がらなくても通りを歩く人々から見てとれるような手法を考えている（模型写真の映像による）。 屋上に人を上げることとなれば、階段とエレベーターが必要となりそれだけで 40 m ² から 50 m ² 必要になる。面積的な部分で苦労していることから、屋上よりも下の階を充実させてあげた方がよいのではないかと考える。
渡辺委員長	面積に余裕があれば別だが、1 階も 2 階も面積確保に苦労している

状況で、屋上に更に面積をとられるよりは、1階と2階を充実させることに力を注いでいただいた方がよいと思う。エレベーターの建設コストもストップ数が増えれば増額になる。皆さんの方からどうしても屋上利用がしたいというご意見があれば話は別だが。

雫 委 員

建物を維持管理する上で階段は必要ではないか。

前川・田中

必要になるが、維持管理のためだけであれば屋外階段で対応できる。

雫 委 員

それは面積に入るのか。

前川・田中

屋外階段（非常階段）はどこかい1箇所設置しなければならない。

そこには2階から屋上に上がれないようなつくりとする。

雫 委 員

屋外階段を使って一般利用も屋上に上がるというのは。

前川・田中

非常階段は避難の時のみ利用することで考えている。

その避難に利用する階段は屋外階段としている。

雫 委 員

屋内階段とメンテナンスの階段を兼用してはいけないのか。

前川・田中

兼用は出来るが、一般利用者が2階から屋上に上がれないように、施錠をしたりする必要がある。

渡辺委員長

議論が混乱しているので整理したい。一般利用者が屋上に上がらなければ、屋上の図面にある階段は必要なくなって面積的にも有利になるのではないかということをおっしゃっているが、屋外階段は面積に入らないので、1,850㎡に収まりますということをお設計事務所側は説明している。

雫 委 員

外側に別の階段をつけるということか。

渡辺委員長

2階から1階に避難するための階段が考えられていて、それを屋上まで延ばすが、誰でも屋上に上がっては困るので、上がれない工夫をしておくというお話をいただいた。

限られた面積のなかで、屋上に人を上げるためだけのために20㎡とか30㎡を使ってしまうのであれば、よほどの理由がない限り、屋上利用は諦めては如何か。

雫 委 員

全部を屋外階段にして屋上まで上がれないのか。

渡辺委員長

それは出来るが、どのような利用をお考えになっているのか。

雫 委 員

景色を眺めたり、休憩したりするのではないか。

渡辺委員長

人が行くととなると、何かあっては困るので手摺りや監視カメラが必要になったりする。メンテナンスのために専門家が上がるのは全く別の次元の話で、一般市民の方が自由に行けるととなると安全を担保しなければならない。

中村委員

床面積の点や防犯の点でも委員長の意見が妥当だと思う。

渡辺委員長

市の建物なので屋上緑化のような環境配慮はしていただき、先程提案のあった、通りからも見てとれる一種のサインみたいなかたちで検討していただければと思う。

前川・橋本

姿勢ですね。

前川・畑野

東京都の緑化に関する条例に照し合せると、本日示した屋上の面積（各種設備スペースを除く約200㎡）の1/4を緑化しなければならない。緑化するのであれば見えない部分ではなく、通りからも見え

る部分でしてあげた方がよいだろうと考え、先程の提案となった。

渡辺委員長 その法規の話だけではなく、市の姿勢として環境に配慮しているということを市民にアピール出来るような検討をお願いしたい。

仙波委員 あとは図書館と公民館の職員の方々に努力いただくということではないか。

渡辺委員長 本日の議案については以上とする。
前川事務所の方には、本日出た要望を踏まえ、図書館・公民館両方について、中2階案とそれ以外の案の2案程度を示してほしい。

3. 次回の開催日程について

山崎庶務係長 次回検討委員会は、10月13日（水）午後7時から第二庁舎8階801会議室で開催する。

(仮称) 小金井市貫井北町地域センター建設
第3回市民検討委員会次第

日 時：平成22年9月26日（日）
午前10時～
場 所：市役所第二庁舎8階
801会議室

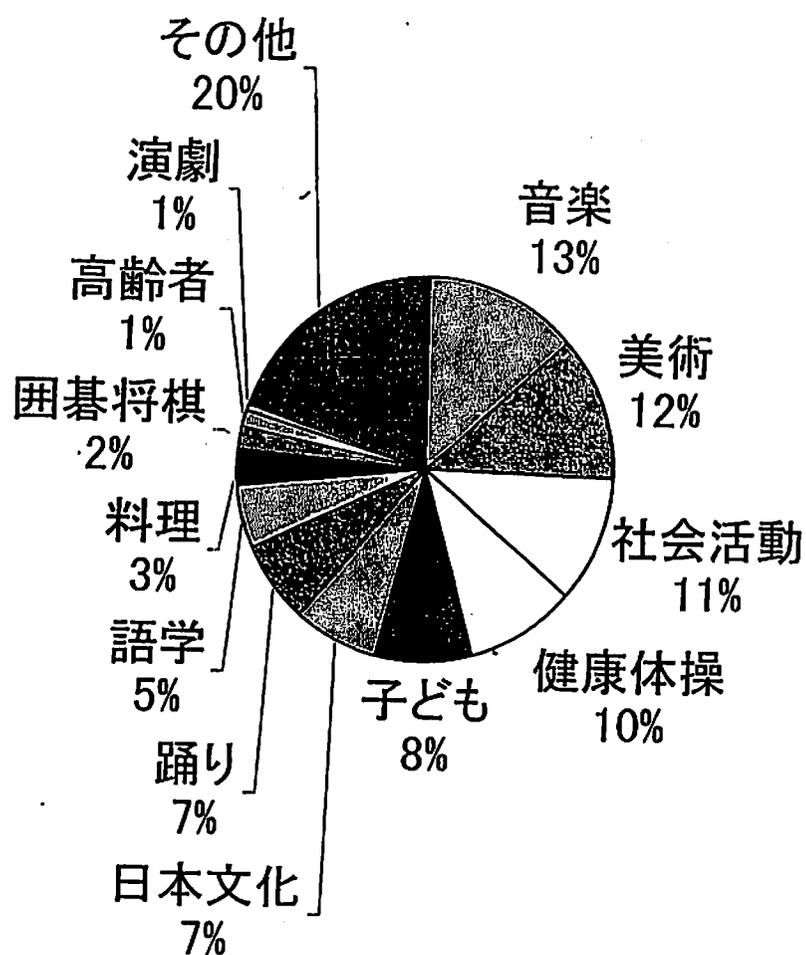
- 1 前回までの質問事項等について
- 2 基本設計（具体的な配置、平面計画）について
 - (1) 図書館部門（各用途のゾーン分けの考え方等について）
 - (2) 公民館部門（各諸室の構成等について）
 - (3) 飲食のスペース、屋上利用の考え方について
 - (4) その他
- 3 配付資料
 - (1) 質問事項回答一覧(8/18まで受付分) …資料 11
 - (2) 事業のまとめ（平成21年度版） …資料 12
 - (3) 公民館利用団体ジャンル別割合 …資料 13
 - (4) 公民館諸室検討案 …資料 14
 - (5) 主要諸室の用途及び大きさについて …資料 15
 - (6) 図書館・公民館の平面計画について …資料 16

質問事項回答一覧 (8/12~18受付分)

平成22年9月26日配付

No.	受付日	質問者	質問事項	回答
4	8月16日	桂 宏子	次回から、公民館の内容を検討していくにあたって、以下の資料を配布していただければ幸いです。 ①2009年度の各公民館主催の行事一覧。 ②各公民館を使用している主なサークル・研究会等の一覧。	①「平成21年度事業のまとめ」冊子を次回検討委員会の際にお配りいたします。 ②既存の資料を調整して次回検討委員会の際にお配りいたします。

公民館利用団体ジャンル別割合(平成22年9月2日現在)



ジャンル	団体数
音楽	53
美術	49
社会活動	42
健康体操	38
子ども	33
日本文化	29
踊り	27
語学	21
料理	12
囲碁将棋	8
高齢者	5
演劇	3
その他	80
合計	400

* 本調査は、公表可と申請された400団体についてのものです。
公民館利用団体として登録されている全団体数は、1761団体です。

公民館諸室検討案

資料14

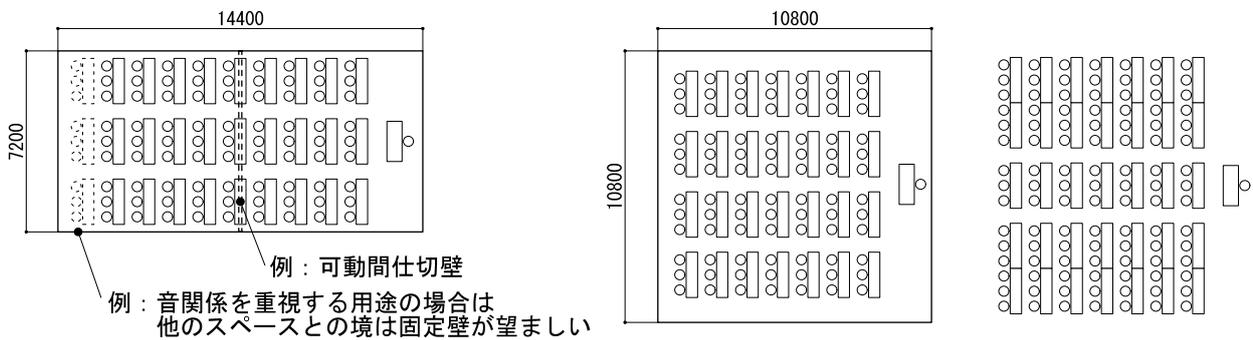
	イメージ	市内5館の類似室	想定される活動	市民、利用者からの要望	評価	面積(m ²)の目安
講義室	教室スタイルの講義室。備品はスクリーン、演壇、常設天付きプロジェクターなど。	全ての公民館にある。東分館の場合は集会室に近い。	講義系主催事業、サークル定例会、多様な団体の講座、学習会など用途多。	定員100人を超える部屋が少なく、100人を超える学習ができる工夫をして欲しい。	講座やサークルの学習に必須の部屋。フリースペースとの一体利用で、100人を超える利用が出来ればベスト。	100
打ち合わせスペース	テーブルを囲むように椅子を配置したスペース。団体利用室ならば、印刷、コピー、製本グッズがあり通常の印刷室より少し広め。	本館の団体利用室、貫井南分館の小会議室	サークル、団体役員打ち合わせ。自治会打ち合わせなど用途多。	予約しないで気軽に打ち合わせが出来る部屋が欲しい。社会教育関係委員の打ち合わせ室があったら良い。印刷スペースにも打ち合わせのできるところを。	利用者が誰でも気軽に利用できるスペースと、応接スペースのように、講師、委員、準備会参加者などが利用できるスペースの両方があれば良い。印刷スペースには、誰でも利用できるほうのテーブル・ソファを。事務所内には、応接スペースを。	40
レクリエーション室	吸音天井、フローリング床でスクリーン、舞台、ピアノ、常設音響設備(ワイアレスマイク含む)、壁面鏡などが用意された多目的室。 付属の映写・倉庫室にプロジェクター	緑分館レクリエーション室、東分館学習室	音楽、映像関係サークル、健康体操、気功、ヨガ、子育てサークル、演劇、若者サークル、ダンス	利用率が高い。	視聴覚室が無理な場合は、映像設備、舞台等を用意して、兼用の部屋としてはどうか。使用団体の種類が多く、優先順位は高いと思われる。	100
保育室	子供用トイレ、ベビーベット、おもちゃ棚	東分館生活室、本館生活室	保育室として使用できるだけでなく小さいサークルや靴を脱いで利用する懇談会に幅広く利用できる部屋。子供用トイレ、ベビーベット、おもちゃ棚	要望者多。保育専用の部屋にするのではなく兼用でも良いという意見もあり。	生活室として設置してはどうか。部屋としないで、幼児向けのスペースを用意して、保育希望の申請があったときだけ占有するようにするのはどうか。	40
ITルーム	電源、LAN(床埋込)などIT環境の整った部屋。		ITパソコン相談室、講座アーカイブ、事業情報データベース、〃関係サークルやボランティアの活動ルーム。	IT活動の拠点となるスペースに対する要望。	ITパソコン相談室を実施する部屋が必須。セキュリティを考慮。	50
楽器練習室	防音の小さい部屋。ドラムセットなどが用意されている。	公民館ではないが、貫井南センター楽器練習室	バンド練習など	小さい楽器練習室。ミニスタジオ	楽器練習室は一つ、あっても良いのではないか。ミニスタジオは、余裕があれば。	30
食のスペース	スタイリッシュな調理台とテーブル、椅子。従来の家事実習室の椅子より、リラックスできる椅子。	本館、東分館、緑分館の家事実習室	食育活動団体、料理講習会サークルだけでなく、自治会のミニ会合、サークル反省会、子育てサークル、など幅広い利用団体を想定。	教室のような家事実習室はすでに3館にあるので、食の活動の後に楽しく団欒できるスペースのある部屋が欲しい。	他の館にある家事実習室型以外ものはどうか。例えば、スタイリッシュなキッチンと、テーブル。一部に畳コーナーを置くなど。	70
創作室	工作台のある部屋。用具、イーゼル倉庫もある。	なし	絵画、絵手紙、工作、陶芸、科学、青年の活動などに使用する部屋。	小金井市の公民館に一つもないのでつくって欲しい。	他の館に無いこと。陶芸窯を設置するなら専用室があったほうが管理がしやすいことから、ぜひ欲しい。	70
事務所スペース					階段・EVから中央への動線にあることが望ましい。周辺に、職員控え室(4畳くらいで男女合計8畳)、湯沸し、応接スペース、講座資料、ITルームがあることが望ましい。部屋を閉め切らず、ローカウターのオープンスペースとするのはどうか。サークルロッカーと印刷室は、管理者の動線上、あまり遠くでない方が良い。喫茶室は1階か。	
合計						500
中高生スペース		なし		中高生の居場所になるところが欲しい。	多様性のあるラウンジが検討の中心。ウィークデイの3時まで、一般の利用に開放することも検討。	50

全体的な配置（各諸室の配置関係）は、別図（2階平面図）による
 各個室面積とフリースペースとの全体バランス、及びフリースペースとの連携利用を考慮した配分を検討

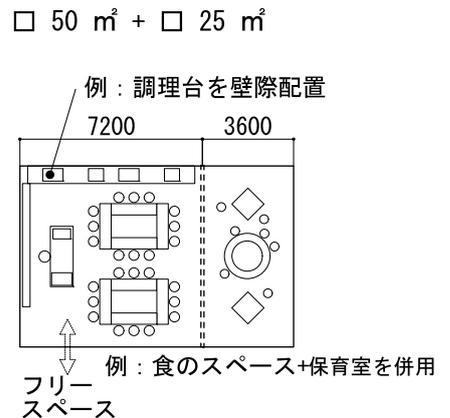
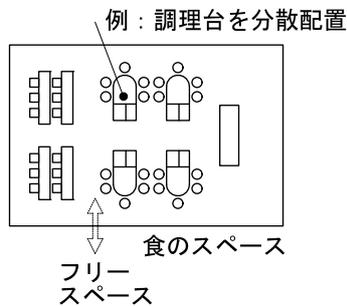
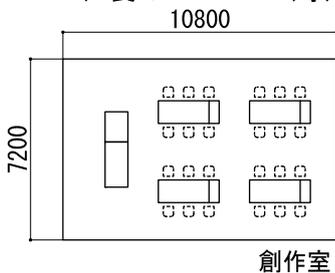
- ・最大の室の面積（用途・収容人員）はどのくらいか？
- ・別用途を兼用できる室はあるか？
- ・可動間仕切壁で、小分け有効な室は？
- ・遮音性を重視する室は？
- ・特殊な什器備品を使用する室は？（他の用途と兼用することが可能か）

■ 諸室の大きさと用途、家具配置の例

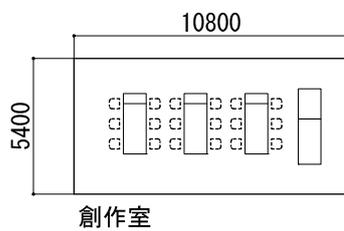
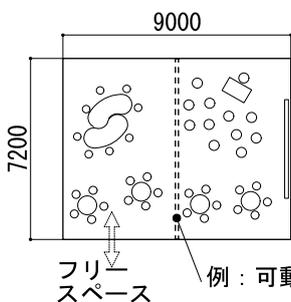
- 100 m² (80~100人)
- 1) 講義室（教室スタイル）：集会、講座、学習
 - 2) レクリエーション室（多目的室）：集会、講座、学習、視聴覚、演劇、ダンス、他



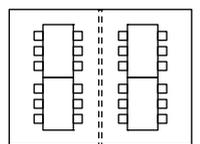
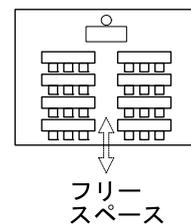
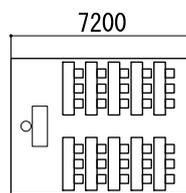
- 80~70 m²
- 3) 創作室（専用什器必要）：絵画、工作、陶芸、他
 - 4) 食のスペース（専用什器必要）：食育、料理、子育て、他



- 60 m²
- 5) 打合スペース、他

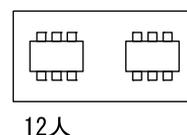
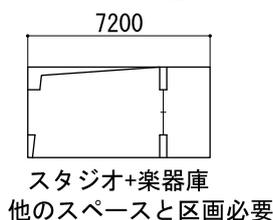
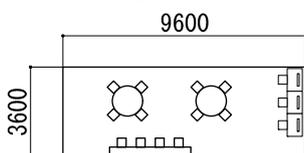


- 40 m² (20~30人)
- 6) ITルーム、保育室、打合スペース、他



- 35~25 m²

- 6) 青少年（中高生）スペース + スタジオ（音楽室）、保育室、他



大きさの目安
 3.6*3.6≒13m²
 (8帖)

